

整理番号	5-2	事務事業名	市街地整備促進事業		作成部署	企画財政部 都市計画課	電話	内線762
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	市川 洋一	課長職名	児玉 正輝	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S44	根拠法令等	都市計画法					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	市街化区域の見直しや用途変更に伴う基礎調査や市街地整備基本計画、課題の整理、関係図書の作成を行うため							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力にあふれたまち	(第 5 章)
	節	市街地整備	(第 1 節)
	施策	快適な都市空間の形成	(第 2 施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	市内全域の土地、建築物	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	総合計画の「まちづくりの基本的方向」にうたう「目指す都市像」及び北広島市都市計画マスタープランの「地区づくりの基本方針」の実現に向けて計画的な市街地の形成を促進する。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	北広島市都市計画マスタープランの作成 大曲幸地区及び中の沢地区の市街化区域編入に伴う用途地域の指定
		17年度	西の里(旧43条)区域の市街化区域編入作業及び用途地域の指定 札幌圏基礎調査の開始 北広島団地の容積率の見直し

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	640	643	1,883	1,883
	合計	640	643	1,883	1,883
人件費 (概算)	人数(年間)	1.80	1.80	1.80	1.80
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	16,200	16,200	16,200	16,200
総事業費 +		16,840	16,843	18,083	18,083

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	札幌圏基礎調査	0	0	市内1/3を実施	市内1/3を実施
	市街化区域編入	1箇所	0	0	0
	用途地域変更	1箇所	2箇所	0	0
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	基礎資料作成数	0	0	1部	1部
	市街化区域拡大	1箇所	0	0	0
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)					

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等 少子・高齢化や人々のライフスタイルの多様化などが進む中、地区の個性を活かしつつ、だれもが暮らしやすくコンパクトな市街地の形成を図る必要がある。他市においても中心市街地の活性化に向けた用途地域の見直しや、良好な環境を守るために地区計画などのきめ細かいルールづくりが進められている。

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	法に沿った手続きを行ったり、課題の整理のため、基礎資料を整理することは市の役割である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	社会情勢や市民ニーズの変化に対応したまちづくりが求められており、これを実現するためにも事業の目的は妥当。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	札幌圏基礎調査事業については、札幌圏都市計画協議会に委託し効果的に実施している。その他、委託可能な事業については委託し実施している。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	市街化区域の拡大により、公共施設の維持管理費はかさむが、市民の利便性や税収入については向上する。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト節減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	効率指数を短期的に判断するのは難しいが、将来的に有効な「まちづくり」に取り組んでいるので、将来的にはコスト節減につながると思われる。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	市街地整備の基本方針を定めている北広島市都市計画マスタープランに基づき、それぞれの地域の課題を整理していく。また、諸課題に対応し、良好な市街地環境の形成を図るため、用途地域・地区計画等の見直しなど土地利用のあり方を検討する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり